

目次

論説

手形行為の有因・無因をめぐる諸問題……………伊沢和平……一

——特に、取得者保護の主観的要件のあり方、および、二段階説の適否——

国際環境法の発展における「誓約と審査」手続の意義……………兼原敦子……四

資料

「自己株式の取得及び保有規制に関する問題点」に対する意見の提出について……………伊沢和平
上村達男……五

研究ノート

政治文化と市民宗教——アメリカ市民社会論への展開——……………越智敏夫……七
わが国の電気通信事業における基本サービスと付加価値サービス……………舟田正之……一四